

須磨海浜公園エリアが変わります

須磨海浜水族園・海浜公園の再整備



経緯と目的

須磨海浜水族園は、開園から30年以上が経ち、設備などの老朽化が進んでいます。また、海浜公園は、昭和60年代から姿が大きく変わっておらず、魅力的な立地や景色を十分に活かしきれていない状況です。

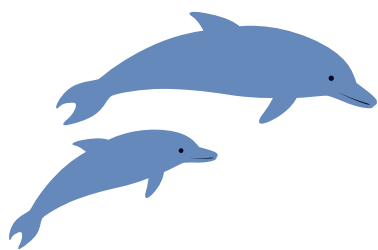
そこで、平成29年に水族園を民設民営で建替えることとし、市民利用を継続しながら海浜公園と一体的にリニューアルし、須磨海岸の整備とも連携して、須磨海浜公園エリア全体の魅力向上を目指すとしました。



旧須磨水族館の全景写真



須磨海浜水族園の全景写真(平成2年)



事業のスケジュール

令和3年3月	水族園本館以外を閉鎖(本館のみ営業)
令和3年4月	水族園(本館以外)、シーパル須磨の解体開始
令和5年5月	水族園の閉園 水族園本館の解体開始 新駐車場のオープン
令和5年9月	にぎわい施設のオープン
令和6年3月末	新水族館、新宿泊施設のオープン (公園全体のリニューアル完了)

須磨海浜水族園の歴史

昭和32年(1957年)に前身の「須磨水族館」としてオープンしました。世界中の水生生物を展示し、当時は「東洋一の水族館」「東の上野・西の須磨」と称えられたといえます。

そして、須磨水族館の開業から30年後の昭和62年(1987年)に、「須磨海浜水族園」としてリニューアルオープンしました。その後、平成元年(1989年)にはイルカライブ館が、平成12年(2000年)にはアマゾン館がオープンしました。



海浜公園の歴史

海浜公園は、住友家より戦災で焼失した須磨別邸跡の寄贈を受け、市がこれを整備して昭和26年(1951年)に開園し、その後、拡張整備されながら現在の公園の姿となりました。

公園内から望む松林や赤灯台、鉢伏山、瀬戸内海の景色は神戸市を代表する景観のひとつになっています。かつては園内に、結婚式場やフィッシングセンター、プール、野球場など、その時代のニーズを反映した様々な施設が存在していました。一方で、現在も昔から変わらず、ラジオ体操やスポーツ、レクリエーションの場として、市民の皆様にご利用されています。



再整備の主な内容

Main contents of redevelopment

公園（園地）部分は神戸市の施設となり、水族館などその他の施設は民間事業者の施設となりますが、管理・運営は民間事業者が一体的に行います。

にぎわい施設

公園がより便利に、楽しく利用できる施設です。レストランや子ども向けブック&カフェ、屋内遊び場、コンビニなどの店舗を予定しています。



宿泊施設

コンセプトは「海への旅にいろいろな価値体験型ホテル」。イルカと親しむことができる中庭やオーシャンビューの客室、地産地消にこだわったレストランなどが特徴です。



駐車場

4層5段の立体駐車場を整備し、このエリアで約1,100台の駐車台数を確保します。これまで以上に歩行者の安全に配慮した駐車場とします。



水族館

神戸の身近な生きものから世界の魚類や海獣などさまざまな生物を展示する「魚類・アシカ・ペンギン棟」、これまで以上の規模となる「イルカ棟」、西日本で唯一シャチが見られ、研究機関も併設された「シャチ棟」の3棟を設置します。



無料展示コーナー「須磨コレクション」

須磨海浜水族園で飼育している生物の多くは、新水族館でも継続飼育する予定です。そのうちの一部は無料展示コーナーである「須磨コレクション」に展示します。



社会教育活動・研究活動

展示や解説だけでなく、学習会や小学生を対象にした体験教室など、さまざまな教育プログラムを予定しています。また、鯨類の繁殖に関する調査研究を進めるなど、新たな取り組みも行います。



公園（園地）

園路・広場

景色のきれいな散歩道など、バリアフリーに配慮した園路を設けます。地域のイベントやラジオ体操などに利用できる広場を整備します。



公園を魅力的に演出する施設

子どもや家族で楽しめる遊具や健康遊具、須磨海岸とつながる周遊コース、快適に利用できるベンチ、きれいなトイレなどを整備します。



歴史的・文化資産

旧住友家須磨別邸の遺構や国の重要文化財である旧和田岬灯台などの歴史的資産を保存し、解説板の設置やライトアップを行い、より身近に親しめるように活用します。



松林

須磨海岸と一体となった歴史ある白砂青松の景観を継承し、できるだけ松林を残しながら活用する公園とします。



パークコンシェルジュ棟（公園管理棟）

公園の利用や周辺観光を案内し、休憩所としても利用できます。須磨の歴史を紹介するコーナーや、イベントや地域活動に利用できる多目的室も計画しています。

防災施設

園内を屋外の緊急避難場所として利用できるほか、ソーラー照明、防災スピーカー、かまどベンチ、防災トイレ、備蓄倉庫などの防災施設を計画しています。

※認定計画書（令和元年11月28日）をもとに作成しています。今後、詳細設計および関係機関等との協議により変更となることがあります。

Q. どうして市が再整備を行うのではなく、民間事業者が行うのですか？

A. 民間事業者による自由で新しい発想や、ノウハウにより、より魅力のある公園や水族館にすることが期待できるためです。

Q. 再整備後の公園はすべて有料になるのですか？

A. 松林や広場、遊具など、一般の公園部分（前頁の緑色部分）はこれまでどおり無料で自由に利用することができます。

Q. 工事期間中は公園は使えなくなるのですか？

A. 利用できる場所を確保しながら順番に工事をするので、公園全体が使えなくなる期間はありません。

Q. 松林はどうなりますか？

A. 新しい施設の建築に伴い、一部の松には影響が生じますが、松林の7割程度は今のまま残します。また、利用できる松は移植し、新たな松を積極的に植え、松林の育成にも力を入れていきます。

Q. 今後もラジ体操や広場の利用はできるのですか？

A. コミュニティ広場（土のグラウンド）、すまっこひろば（芝生広場）などの広場を整備します。松林の中や広場は、これまでと同様にラジ体操や地域のイベントなどご利用いただけます。工事期間中も利用できるスペースを確保します。

Q. 新しく建つ建物の高さはどのくらいになりますか？

A. 現在建っている須磨海浜水族園（本館）の高さが約30m、シーパル須磨の高さが約46mです。新しく建つ建物は、施設によって高さが異なりますが、最高でも30mを上回らない計画としています。

Q. 再整備後は多くの人々がやって来ると思われますが交通渋滞の対策は？

A. 必要な駐車場を整備しますが、混雑が予想される日は警備員を増やしたり、リアルタイムで駐車場の混雑情報をお知らせするなどの対策を行います。また、来園する車への案内を工夫したり、公共交通の利用を促進するため公共交通機関と水族館のセット券の販売も検討しています。

Q. 新水族館の料金はどのようになるの？

A. 下記のとおり予定しています。

通常料金	コンビニ前売券割引(10%OFF)の場合
■ 大人(高校生以上) ……3,100円	→ 2,790円
■ 子ども(4歳~中学生) ……1,800円	→ 1,620円
■ 3歳以下 ……	無料

特別料金プラン(一例)

- 神戸市内の小・中学生 …… 年1回 500円
- 神戸市内の幼児(4歳~6歳) …… 年1回 無料
- 神戸市内の小・中学校等の遠足等 …… 無料
- 【市民DAY】 …… 神戸開港記念日(12月7日)は神戸市民が1,000円
- 【敬老の日感謝DAY】 …… 敬老の日は神戸市の65歳以上の方が1,000円

須磨海浜水族園からのお知らせ

1. 令和3年3月から本館のみの営業になります

再整備事業のため、令和3年4月から水族園本館以外の解体に着手する予定です。これに伴い、令和3年3月から水族園は本館のみの営業になります（令和5年5月に須磨海浜水族園は閉園します）。

2. 令和3年3月から入園料が変わります

本館のみの営業となるため、入園料と年間パス料金を値下げします。

[入園料] (令和3年3月~)

- 大人(18歳以上) 1,300円→700円
- 中人(15~17歳) 800円→400円
- 小人(小・中学生) 500円→300円

[年間パス] (令和2年12月~)

- 大人(18歳以上) 3,000円→1,800円
- 中人(15~17歳) 2,000円→1,200円
- 小人(小・中学生) 1,200円→700円

もっと詳しい内容は

神戸市ホームページでは、須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業について、さらに詳しい内容を公開しています。必要に応じて、「出前トーク」も受け付けています。

須磨 再整備



神戸市では須磨海浜水族園の記録や記憶を保存するためのアーカイブ事業を実施しており、特設ホームページ「須磨海浜水族園デジタルアーカイブ」を開設しています。生きものたちの写真や過去のイベント情報等を掲載していますので、ぜひご覧ください。

スマスイ アーカイブ



問い合わせ先
CONTACT

神戸市総合コールセンター
☎ 078-333-3330
FAX 078-333-3314

水族館、宿泊施設について
経済観光局観光企画課

公園、にぎわい施設、駐車場について
建設局公園部整備課